

## ブドウの接ぎ木（鞍接ぎ）

### 【穂木の準備】

剪定時期に穂木を採取し、乾燥しないようにビニール袋に密閉して3～5℃で冷蔵保存しておく。

### 【接ぎ木の時期】

4月上中旬（気温が低い時期に行う場合、挿し床を温める必要がある。）

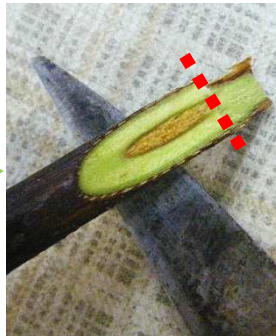
### 【手順】

接ぎ木ナイフ、鋏等は消毒しておく。

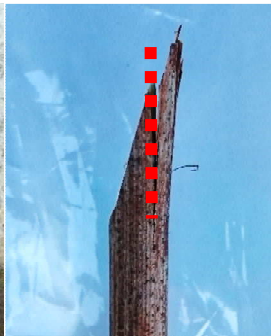
①台木と穂木を、**芽の向きに注意して**接ぎ木ナイフを使って同じ手順で調整する。



30～45°の角度で切る。



髓と木部の境目に刃を立て、縦にまっすぐ切り込みを入れる。



台木と穂木の断面の形が近いほど良い。

②台木の芽や穂木の余計な部分を鋏で切り落とす。

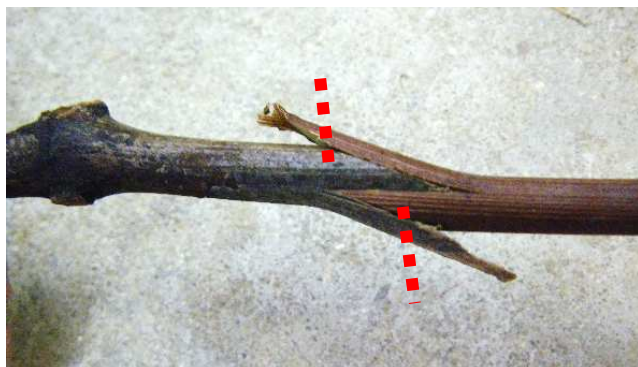


台木の調整完了。



穂木の調整完了。

③台木に穂木を差し込み組み合わせる。太さが違う場合は片側の形成層を合わせる。



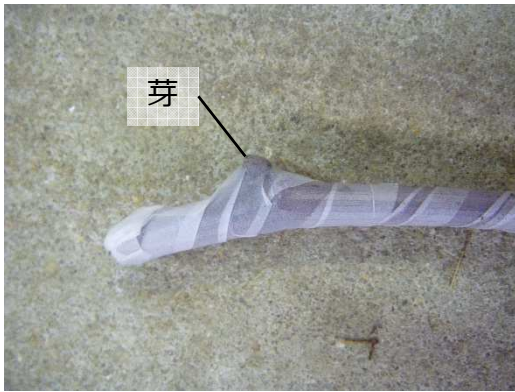
余計な部分は鋏で切る。



【裏面に続きます】



④穂木の芽を含んだ全体に接ぎ木用フィルムを巻き付ける（挿し木部分だけは残しておく）。



芽の上は一重に巻く。

\* 当園では一重であれば自然に芽が突き出るフィルム（メデール）を使用。

接ぎ木完了。

⑤挿し木部分の先端をナイフで切り、挿し木する。



節の部分から発根しやすいので、節のすぐ下で切る。



挿し床には清潔で排水性がよいもの（鹿沼土等）を使用する。

## 【挿し木後の管理】

- 蕾は小さいうちに鋏で除去する。除去しないと新梢の生育が著しく悪くなる。
- 防除を頻繁に行い、病害虫に注意する。（特にスカシバ等新梢を食害するもの）
- 挿し木後約2か月くらい（梅雨時期）で鉢上げする。
- 鉢上げ後しばらくは強烈な直射日光にあてないようにする。
- 接ぎ木用フィルムは翌春忘れずに除去する。除去しないと枝に食い込んでしまう。



挿し木1か月後の様子（無加温ハウス）

**種苗法を遵守し、適正に苗木を利用しましょう。**